

TEALV  
MENN



そして、季節は巡る

R18  
ADULT ONLY



IKKAA  
VAT



FLAVORFUL MEMENTO



そして、季節は巡る





05. Talviset vierailijat

23. Talvipäivä

39. Todellinen rakastaja

70. Talvi meni jo, nyt alkaa kevät.

・ 継続高校卒業後if漫画  
・ ユリの一人称が「私」

・ ユリがタチ時々リバ  
・ ミカがネコ時々リバ

※無断転載・再配布・フリマ・  
ネットオークション出品禁止









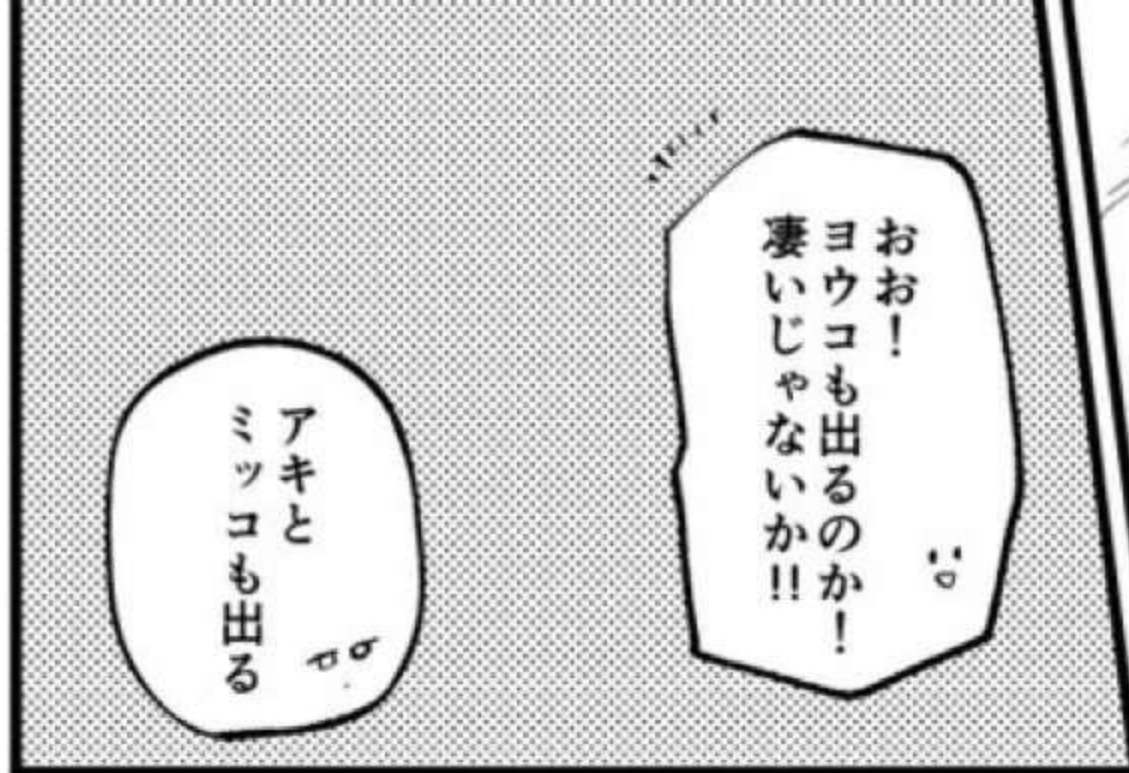








大学選抜チームと  
海外チームとの  
練習試合……



おお！  
ヨウコも出るのか！  
凄いいじゃないか！！

アキと  
ミツコも出る



私活躍して……  
あの頃より  
強くなったって  
証明する

だから  
見に来るべき

……ユリも



おう！ちゃんと  
見に行くからな！  
頑張れよヨウコ！！

年下扱い  
やめて

らりらり



……ほんとは

一緒に  
出たかった

ユリとも

……ミカとも





継続高校を卒業して

大学では音楽サークルに入った





来る者拒まずで  
演奏しまくってたら  
仕事に繋がったりして

それなりに  
忙しくしている

戦車道をする  
ヒマもないくらい

時間は着実に  
流れていく

環境は目まぐるしく  
変化する…



ただい…  
ん?



おかえり

ユリ

はず、なんだが…







これは？

ああ：  
大学選抜チームの  
試合か

ヨウコからの  
届け物だ

ふふ：  
ヨウコも本当に  
強くなったね

知ってたのか？

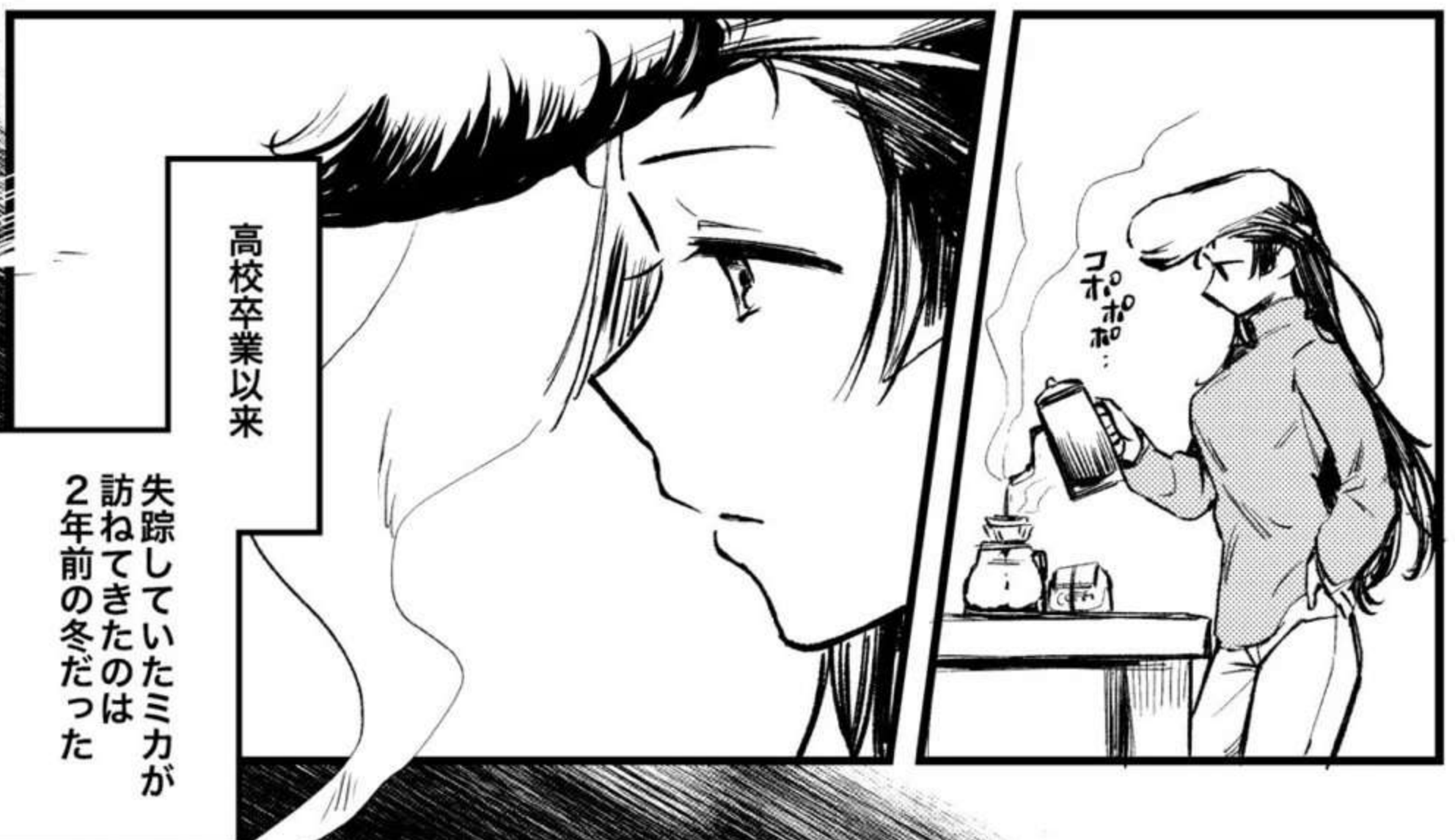
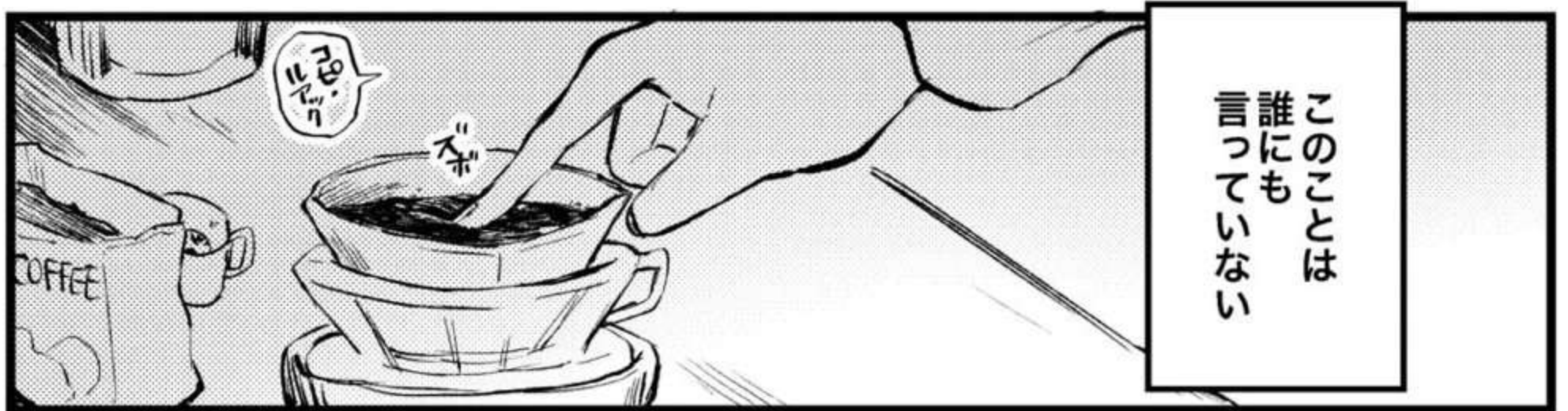
それはもう。  
アキもミッコも  
出るからね、  
こっそり応援に行く  
つもりだよ

：別に堂々と  
行けばいいじゃねえ

か

：おかえりのキスが  
まだだったから  
今したよ







やあユリ  
久しぶり

悪いけど

コーヒーを  
一杯貰えるかな

ーお前今まで  
どこで何して  
たんだ？

大学側から戦車道の  
推薦入学の話も  
来てたんだろ

それ蹴って……  
行方くらまして

アキも……ミツコも……  
凄い心配してたぞ

……戦車道





…でも大学で戦車道を  
始めようという気には  
なれなかったんだ

世界は広いのだから  
他にもすばらしいものが  
あるかもしれないと  
思ったけれど

あの時の



戦車道は  
すばらしい

人生な大切なものを  
たくさん教わったよ



……ユリに  
お願いがあるんだ



光があんまり  
眩しすぎて

心残りで



どこにも  
行けなくなつて  
しまったみたい









：アキやミッコ  
じゃなくてウチに  
来たのは私が戦車道  
辞めたからか？

継続高校を  
継続：ってか

面白くもねえ

：



分かってる

でもあいにく  
私はあの頃のま  
まじゃない



駄目かな？



ミカは狡い

私はどうしてか昔から

ミカの頼みを  
断れない





私の恋人に  
なつてくれ

…って  
言つても…

高校の時から  
やることやってたから  
結局大して変わらな  
いんだけど…

私と寝てたか？

なななな  
肉本肉係…

思えば  
スゴイ学生時代  
だ

なんであんな  
条件をつけたのか  
自分でも分からない

私は

ミカのが  
好きなんだろうか  
…





恋だの愛だのと  
織り交ぜてみるには  
ちぐはぐに  
なりすぎてしまった

いや  
いや  
…やめよう



せいぜいモラトリアムを  
享受しよう

そして私は  
それを止めないだろう

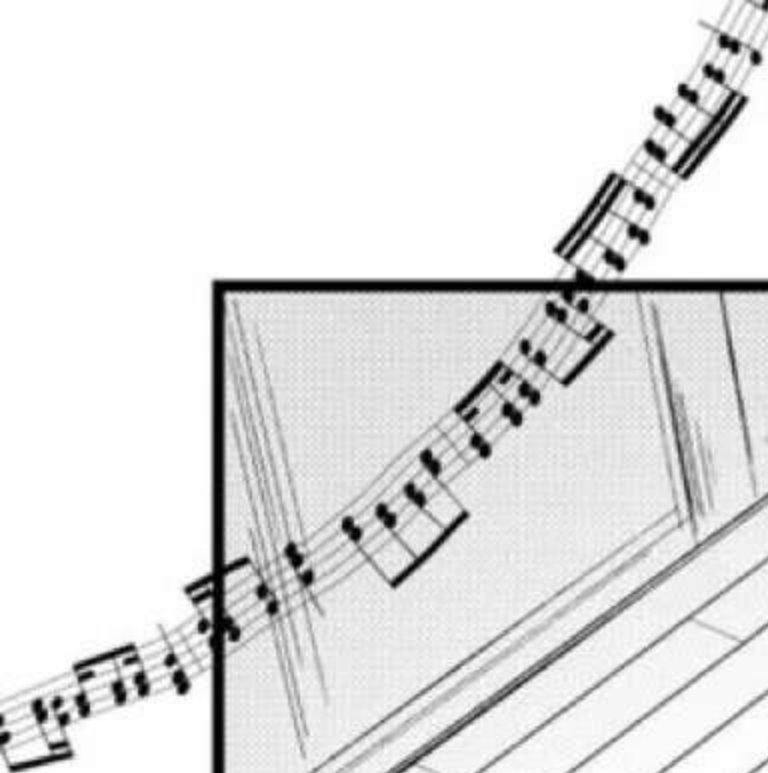
だからそれまでは…  
それまでの間くらいは



ミカはいずれ  
ここからいなくなる







進む時間から  
目を背けている  
だけだとしても



…でも  
年単位の話とは  
思わなかったな…

音楽でおびき寄せられるなんて  
スナ●キンみたいだね

お前には  
言われた  
ないツ

すんすん

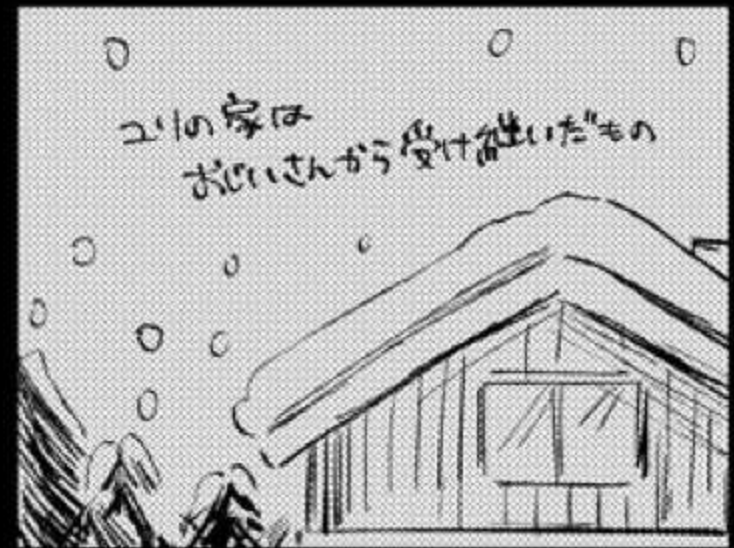












凝った料理を作ることにキョーミがないので  
食卓はシンプルにありがち





冬には

クリスマスや  
正月やバレンタイン  
なんかのイベントが  
ある訳だが

私は  
そういう時ほど  
忙しい

おつかれー!!





ユリ!

今日は  
いい演奏  
ありがとう!

ホントに  
打ち上げ参加  
してかないの?

ああ  
そのつもり



うーん……



良かったら  
ケータリングだけでも  
持って帰って!

頼みすぎちゃって  
絶対余すから

いいのか?



じゃ  
お言葉に甘えて



…彼氏かな？

多分ね〜



もう何か  
食べたかな…

別に義理立てしてる  
訳じゃないけど

こういう日は  
なるべく帰るように  
している

あれ…

ミカあー？

ガチャ

しーん…





最初の1、2年は  
イベント事は  
あえて避けていた





どうせいなくなるのに  
思い出なんか作ってたって  
意味無いって



でも元々  
楽しいことは  
好きなんだ

あーあ...  
あーあ...



自由という名の  
自由

風という名の  
風

アハハハハハ！

あのさあ…  
継続が演奏だけして  
歌わなかったのって  
隊長が音痴なのと関係ある？

戦車道は  
歌えばいいって  
もんじゃない。

100カ/ネ7

♪On kauniina muistona  
Karjalan maa...

そんなに言うなら  
ユリの歌も聞かせて  
貰おうか

セミプロの  
実力なめんなよ？

おいしいぜ





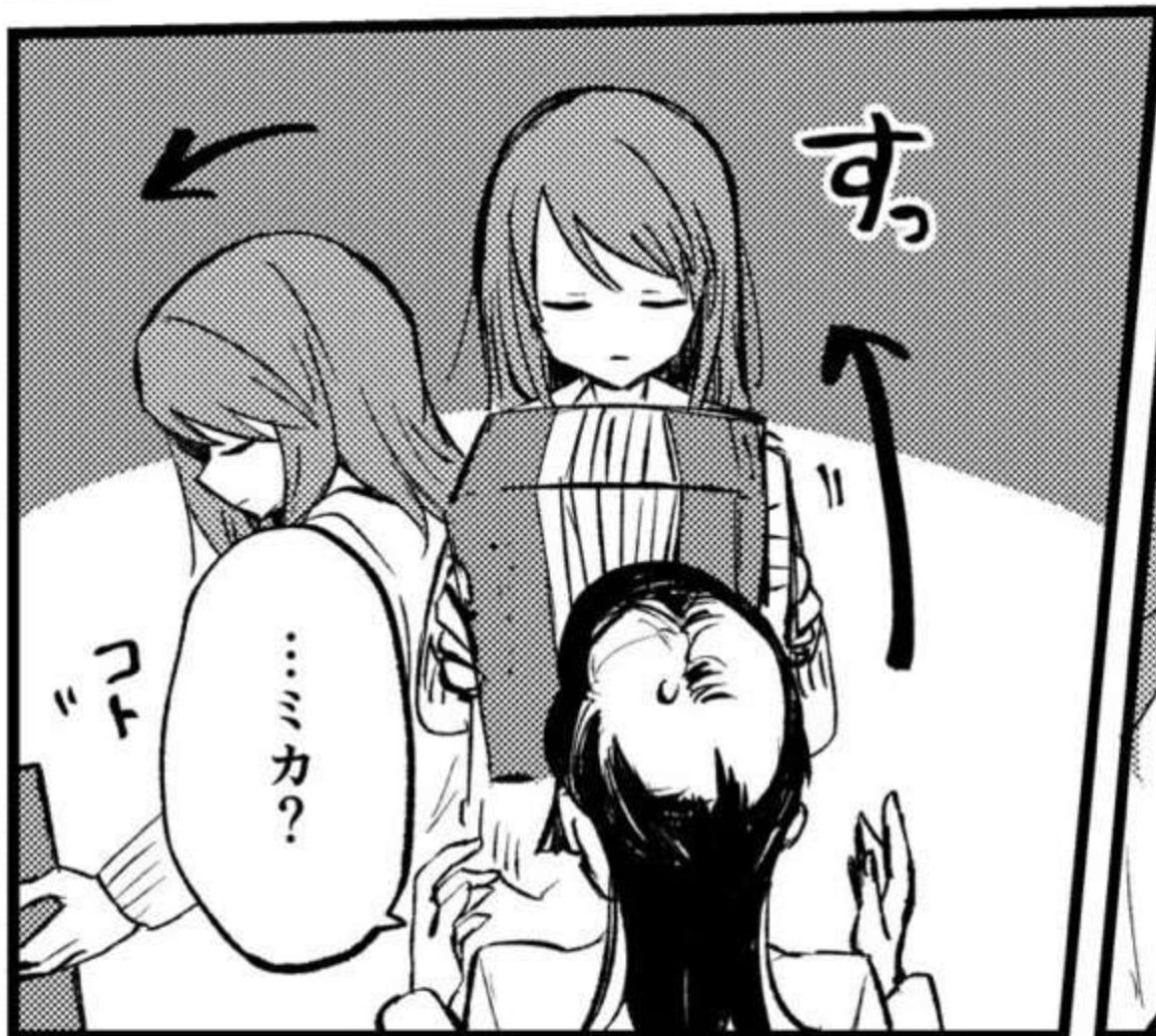
Nuoren ja vanhan se tanssiin vie,  
ei sille polkalle vertaa lie...

että tielle se johtavi muistojen.  
On sointuna Karjalan kaunoisen



Säkkijärven polkka!

サッキヤル  
ポルカ



...ミカ?

す



どーだ!

ガタ





...どーした!

どうしたも  
こうしたも...



ふん...

ねえ

私たち  
試合のあと  
よく抱き合ったね



ユリがあんまり上手に  
歌うから  
思い出したんだよ





この選択が  
良いのか悪いのか

今はまだ  
分からない







ミカは

外側から内側に  
責められるのに  
弱い

ミカとの  
セックスは

正直楽しい



ムム

開かす

じんわり  
溶かして

焦らず

ムム





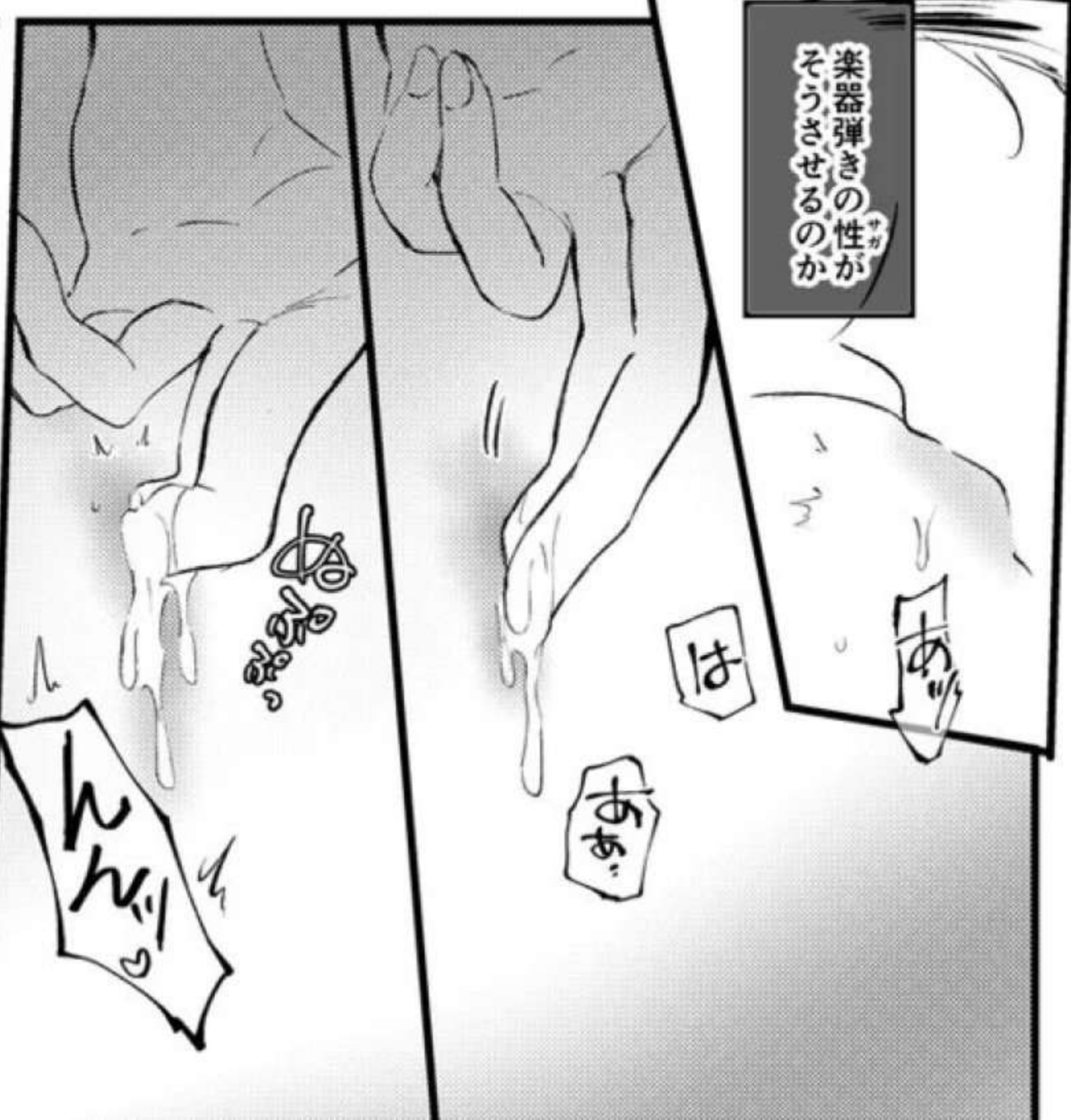
ミカ

察じゃないんだ

声抑えるな



あの手この手でグズグズにして  
イイ音を聴く瞬間が  
たまらなく気持ちいい



楽器弾きの性<sup>サガ</sup>が  
そうさせるのか

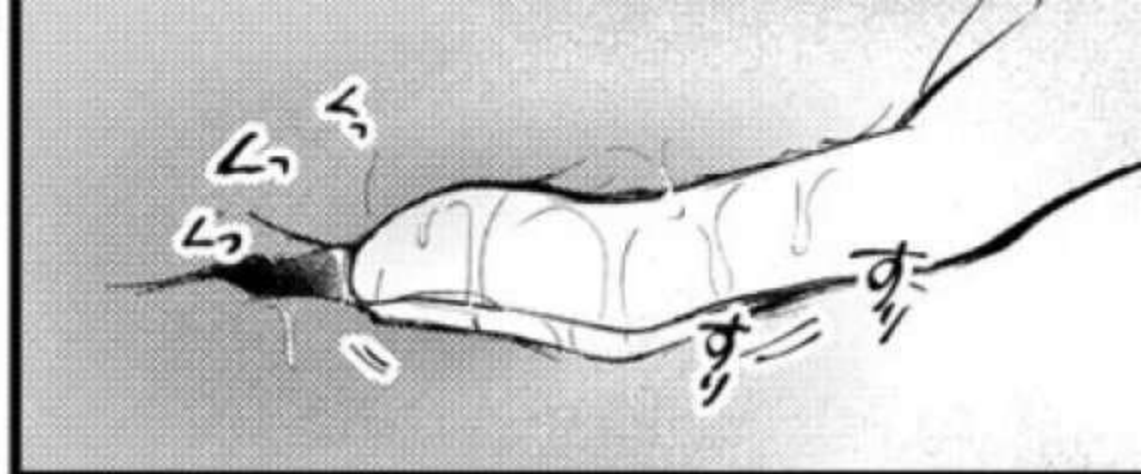
は

あ

んんん

あ





あのみかならば  
まして  
相手が



うわ、  
すご…  
奥から奥から  
溢れてくる

あー……





うーん…

小一時間後…



こんなに  
極上の楽器はない





ユリ

私もね



楽器弾きなんだ

……お  
お手柔らかに……

メリー  
クリスマス

さてね  
ユリがしたみたいに  
ねちっこくしようかな？

え……私  
ねちっこかったか？

……





Todellinen rakastaja











ミカが来て  
去って



来て  
去って

来て  
去って…



そして今また  
去っている











まあいいか...

こいつらになら...

ウー

ウー



そんなに変?

変。

でもらしいっちゃらしい



現地妻じゃん。

まあでもアンタらしいっちゃらしい  
つつーか.....

らしいのか?

頭拾え

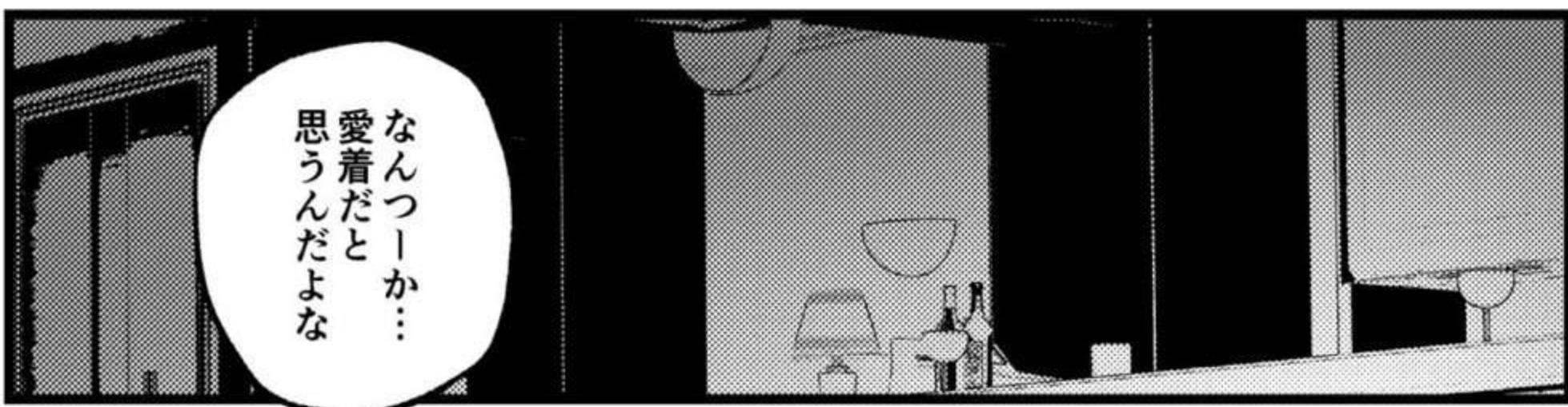
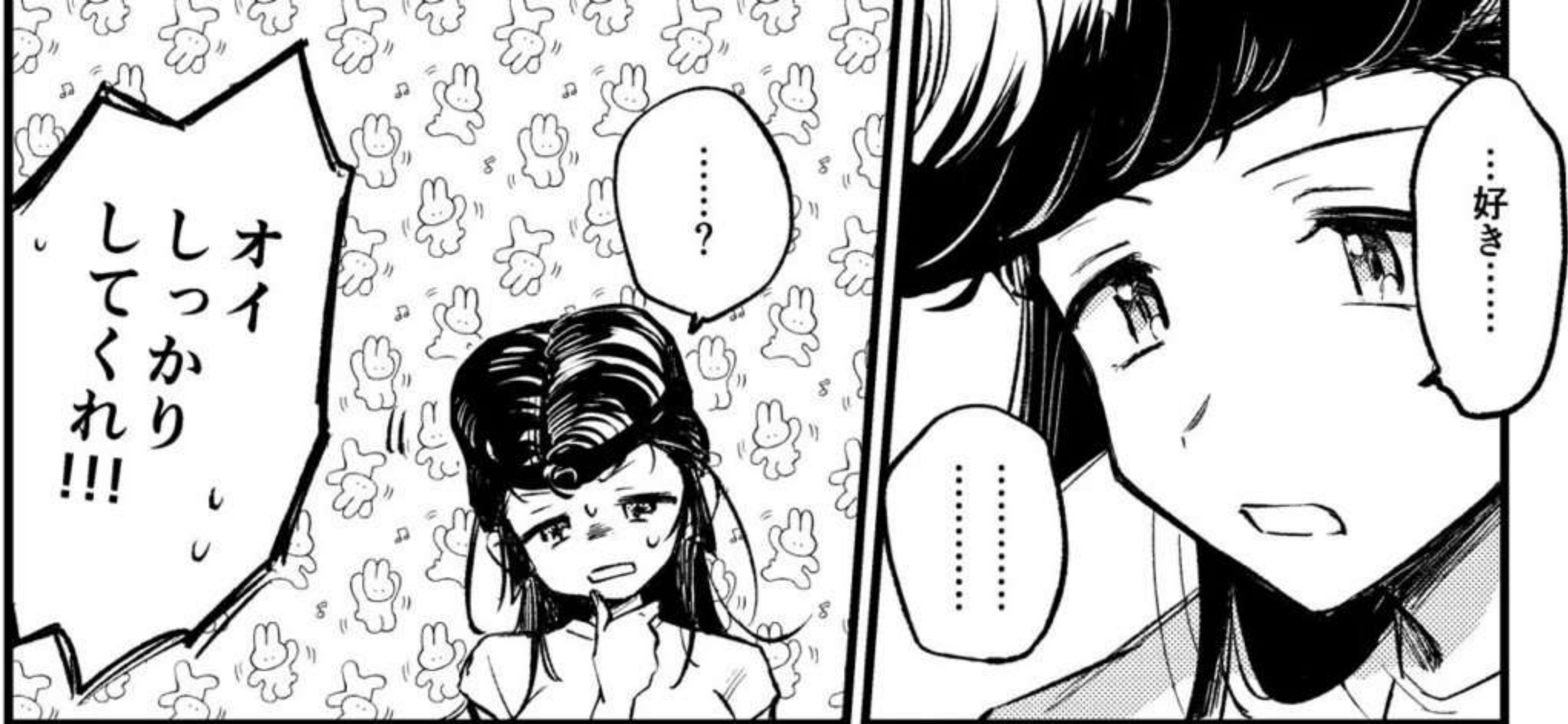
VODKA



少なくともユリはミカのこと好きなんですよ?

冬しか一緒にいられなくて平気なの?









うおい!!

ミカのこと  
好きだけど

私らの車長は  
昔も今もユリなんだ



ユリと同じ  
季節の恋人が他にも  
いるかもしれないよ

ユリが傷つくよーな  
事があったらイヤだ



ユリ





お腹すいてるのかい？



やっぱりウチは  
なかなか勝てないね

そうだな…先輩たちも  
頑張ってるけど  
ヨソと比べると  
戦車も物資も全然  
足りてないからな…



1回戦負けか…



…なんで  
分かるんだ？  
コエーな…

心外だな  
ユリだって  
分かるくせに



無いものを  
ねだっても仕方ない

ねえユリ  
こうしよう

戦車に乗っているとき  
私たちは音楽で会話  
するんだ

はあ？

通信傍受の  
対策にもなるし  
言葉よりも早く  
正確に分かり合える

士気も上がるし  
いい事づくめだ

早は  
ないだろ  
んな  
非効率な...

いいだろう

私たちだけの  
暗号だ





ミカが冬以外  
どこにいるのか  
本当に気にならないの？





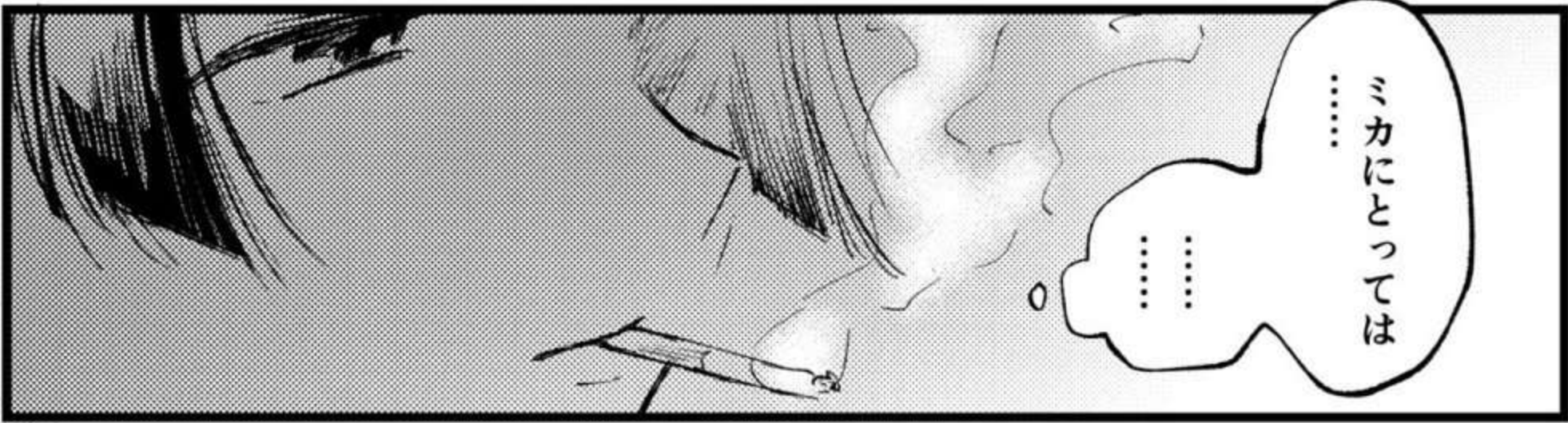


あんな思い出が  
あったって

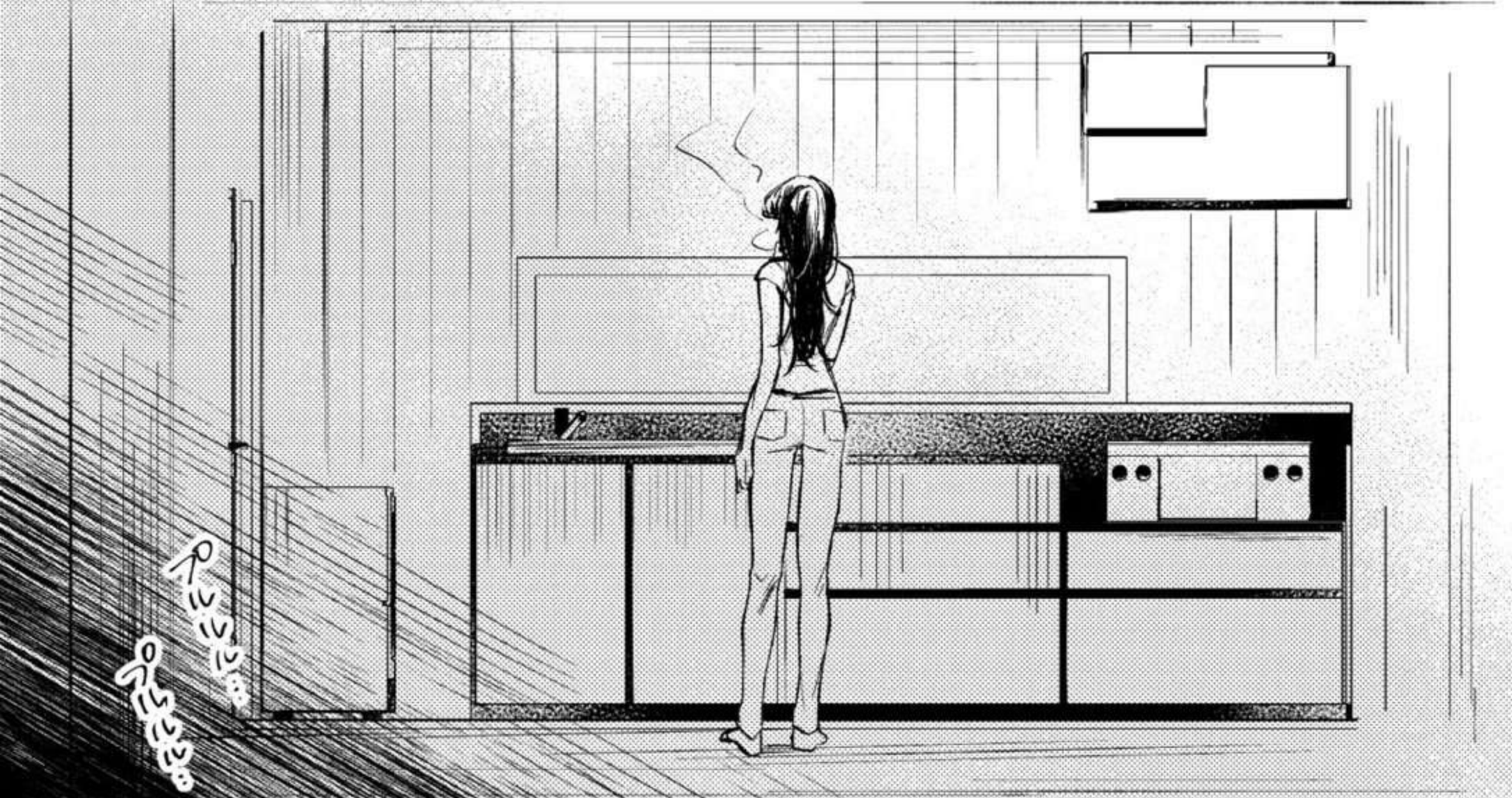
他の奴より強い絆が  
あるとは思わない



そんなものが  
他にいても  
全然不思議じゃない



ミカにとっては  
……  
……







ちょうど  
近くにいて  
良かったよ





…今どこに  
いんだっけ？

北の方さ

そう



…あれ？

作りすぎた食事

私  
今日なんか

変だな

静かな広い家

言われた言葉

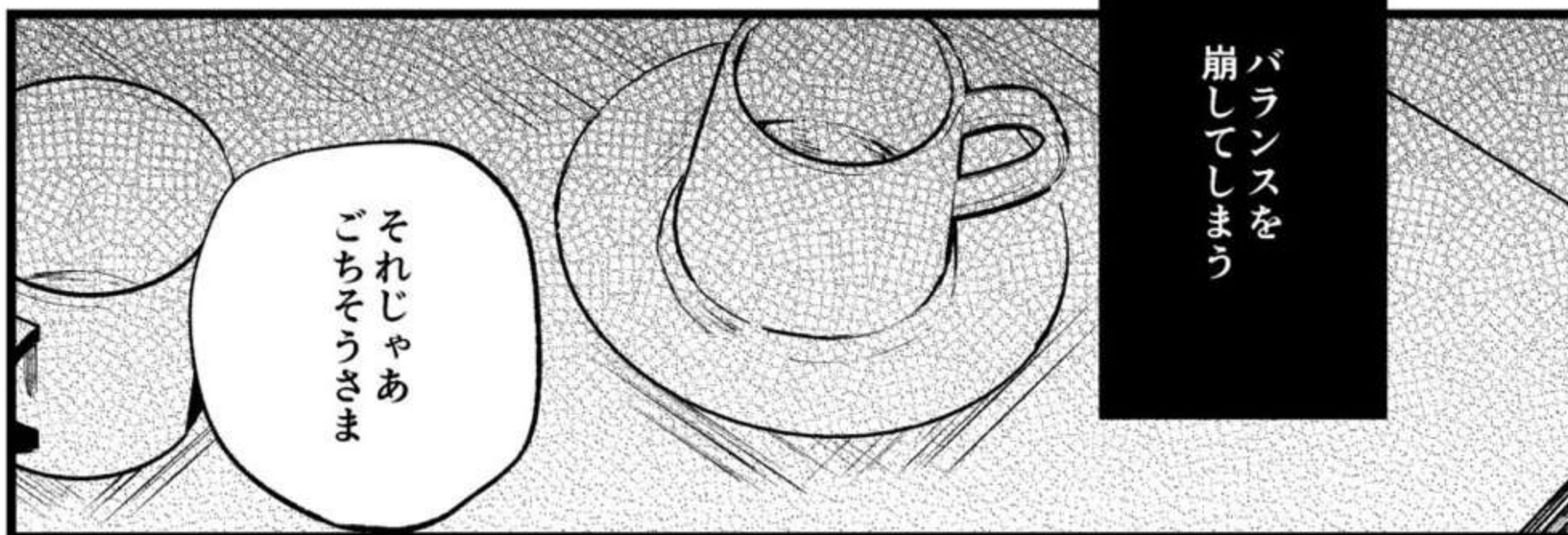
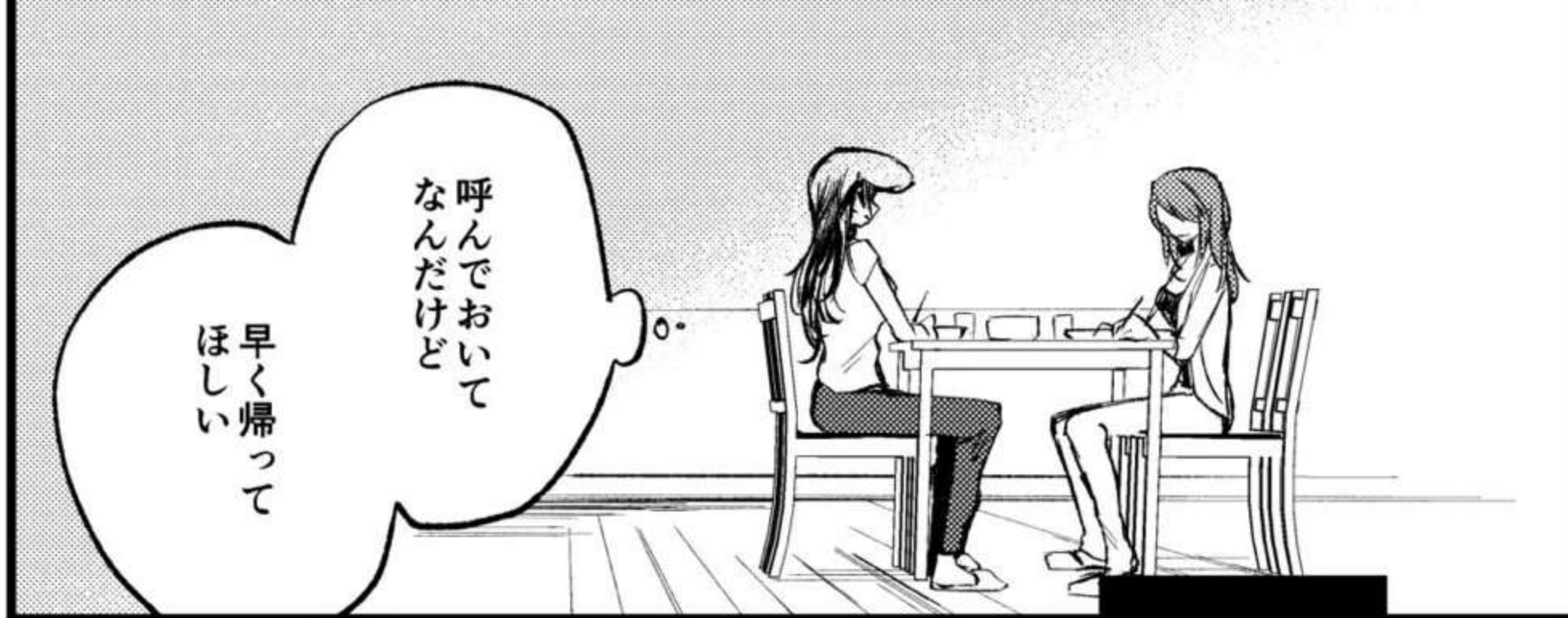
別に大したことじゃないって  
分かってるのに

じくじくと  
何かが溢れてくる

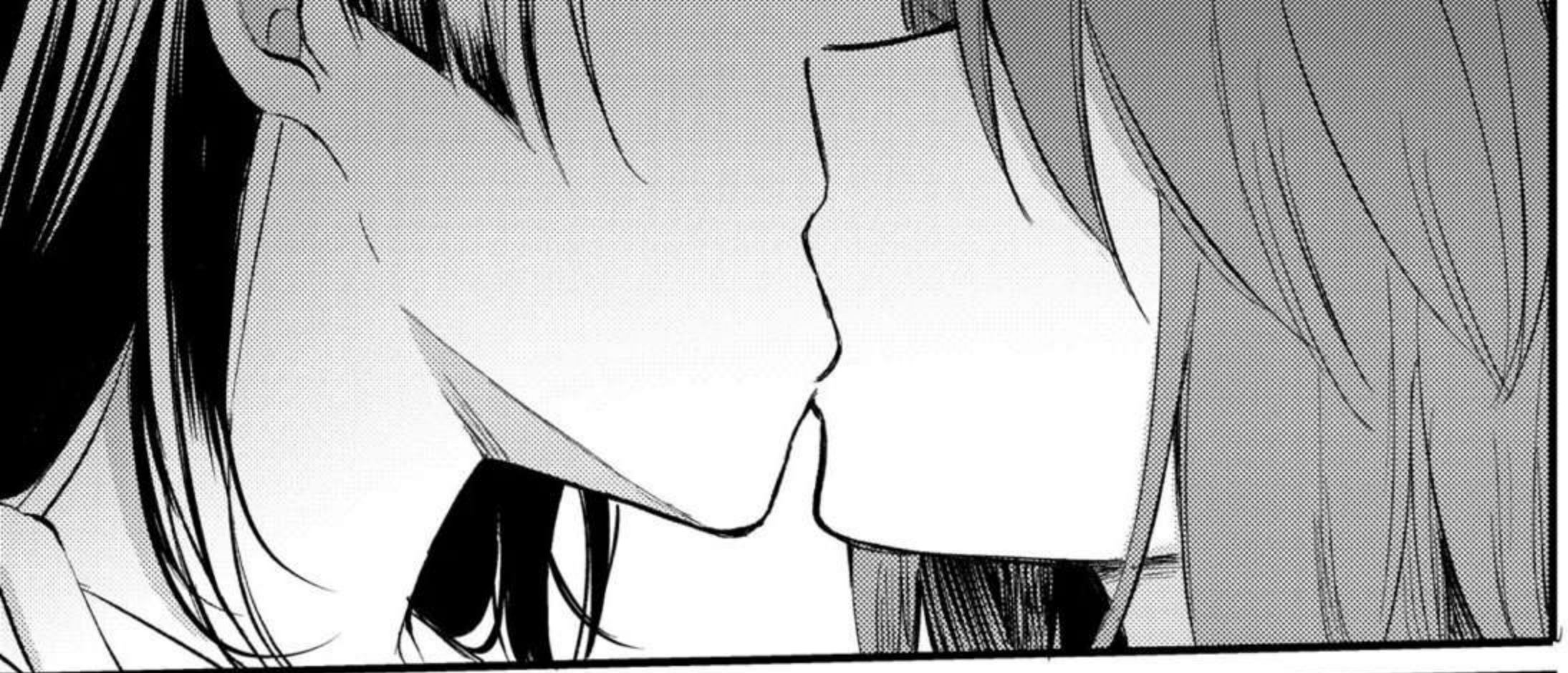
気付いた途端  
痛み出す  
傷口みたいに

…嫌だな













この衝動は  
何なのだろう







前髪、が...



ユリ...ッ

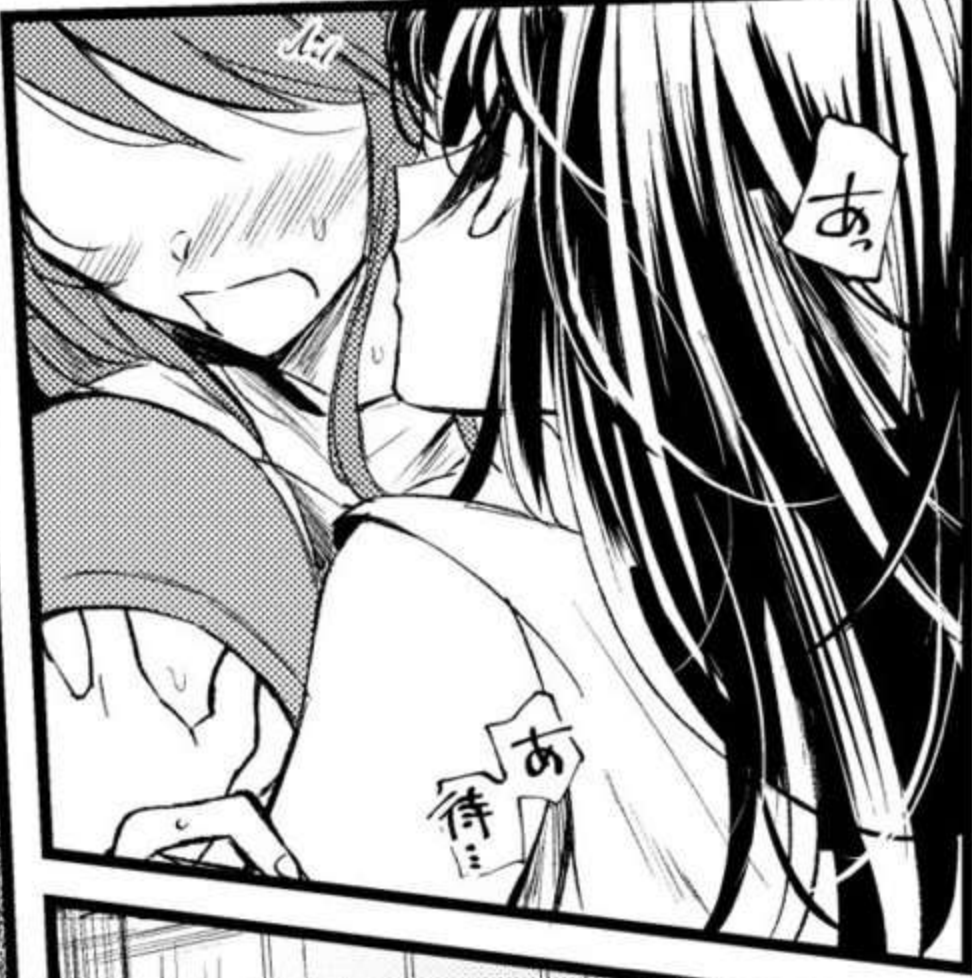
...あ



見ないフリしてきたツケとでも言うのだろうか

あ

あ



あ

あ  
待...



あ

あ

あ





それがどんな形でも



求めてくれるのが嬉しい、なんで…



あーあ……







どんなに  
年数を重ねても  
崩れる時は  
一瞬なんだな…



「ごめん」と  
言えば



きつとミカは  
いよいよ言うだろう

そうすれば  
また積み直せる



複雑に膨れ上がった  
どうしようもない  
感情も  
また…



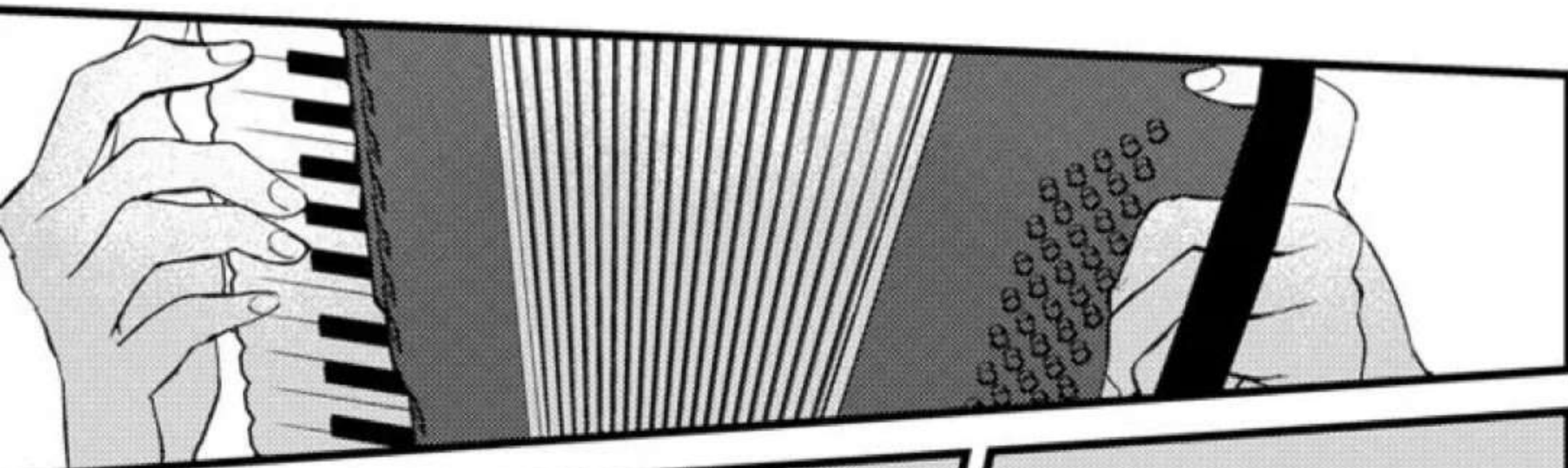
それきり  
何も言わなければ

きつとまた  
冬になれば家へ  
やつてくる









私たちだけの  
暗号だ



言葉より早く  
正確に分かり合える



まあ

確かにな…











ユリは  
私のこと

好きだったんだね...



ごめん

ミカ

...さっきのことも、  
だけど

...冬にもう  
この家に泊められない





手に入らないのが

つらいから…

ユリ



泣かないで…

ごめん

ユリ

ごめん







...来て  
見てほしい  
ものがあるんだ



冬以外の  
季節にはね  
ずっと  
戦車道の代わりに  
なるものを  
探していたんだ



...ネット  
バンキングの  
口座？

いち...じゅう...  
ひやく.....



でも  
見つけられなかった  
結局ずっと  
これをしてたよ



最近はどこにいても  
資産が増やせて  
便利だよ

.....







カク...

完了

寄付のお申込み  
ありがとうございました

わがままに  
付き合ってくれて  
ありがとう

巻き込んでしまって  
すまなかったね...



ユリ

寒い冬は  
独りで向き合うのが  
どうしても  
耐えられなかったんだ

私は  
ユリが好きだよ





でも

戦車道が私にとって  
あまりにも

自分の  
すべてだったから

それがどんな  
種類のものなのか  
分からないんだ…



ぽろ

ぽろ

ぽろ

うわ…



何かな  
これは…

止まらないね

生き甲斐を

失うのが  
怖かったから



ずっと抱えたままで  
いようと思ったりもした

でもユリを  
失いたくなかったんだ





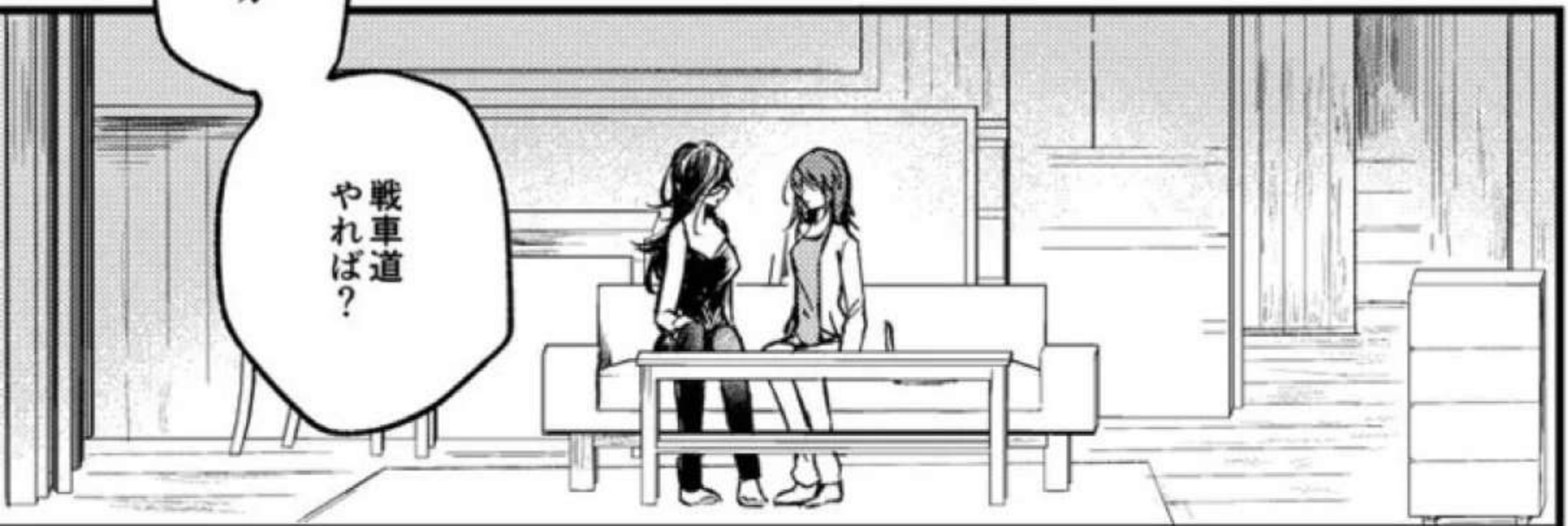
はあ……

バカだ

登場人物  
みんなバカ……



……ミカ



戦車道  
やれば？



継続つづの戦車道は

いま  
終わったんだろ

他の事じゃ  
埋められないなら

またイチから  
始めるんだ

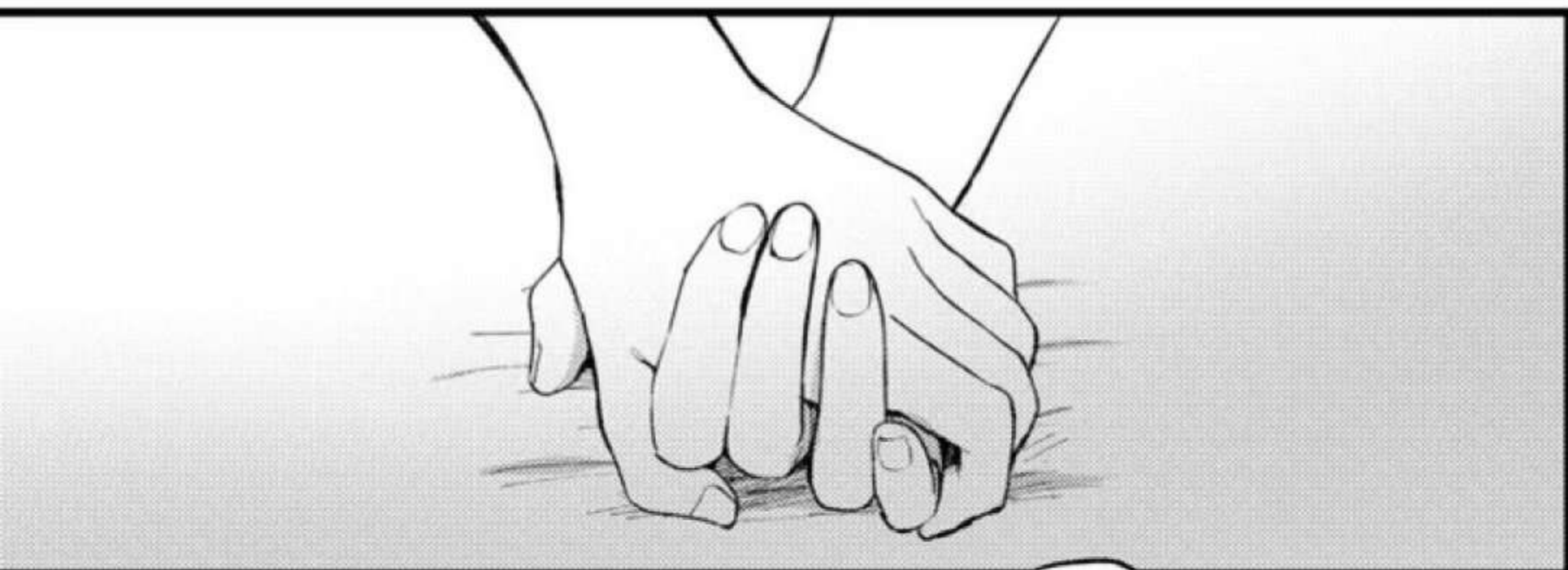








うん



……  
うん  
……





Talvi meni jo, nyt alkaa kevät.









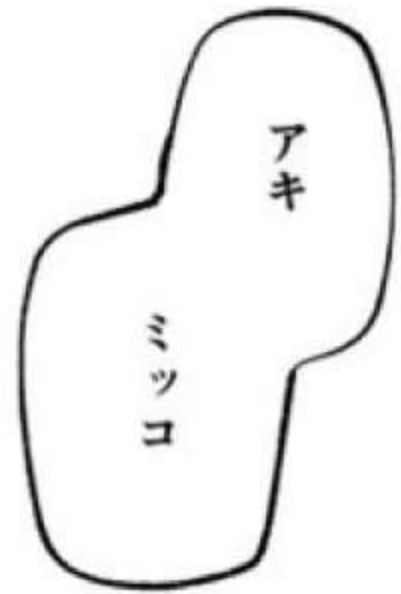
まさか  
大学に入るとは  
思わなかった！

そうかな？

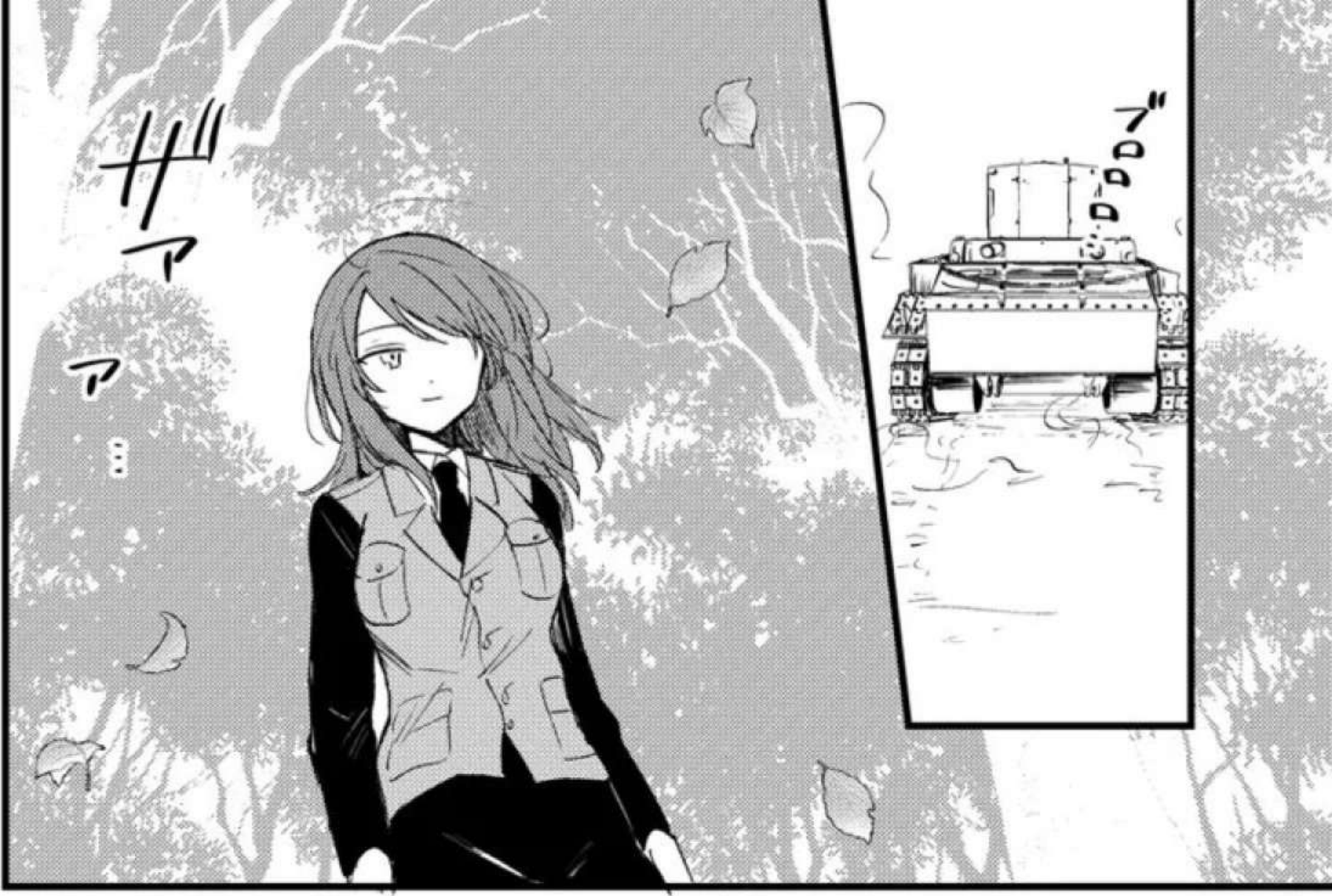
いやーでも  
ミカらしいっちゃ  
ミカらしいよ。  
社会人戦車道じゃなくて  
あえて大学なことか…



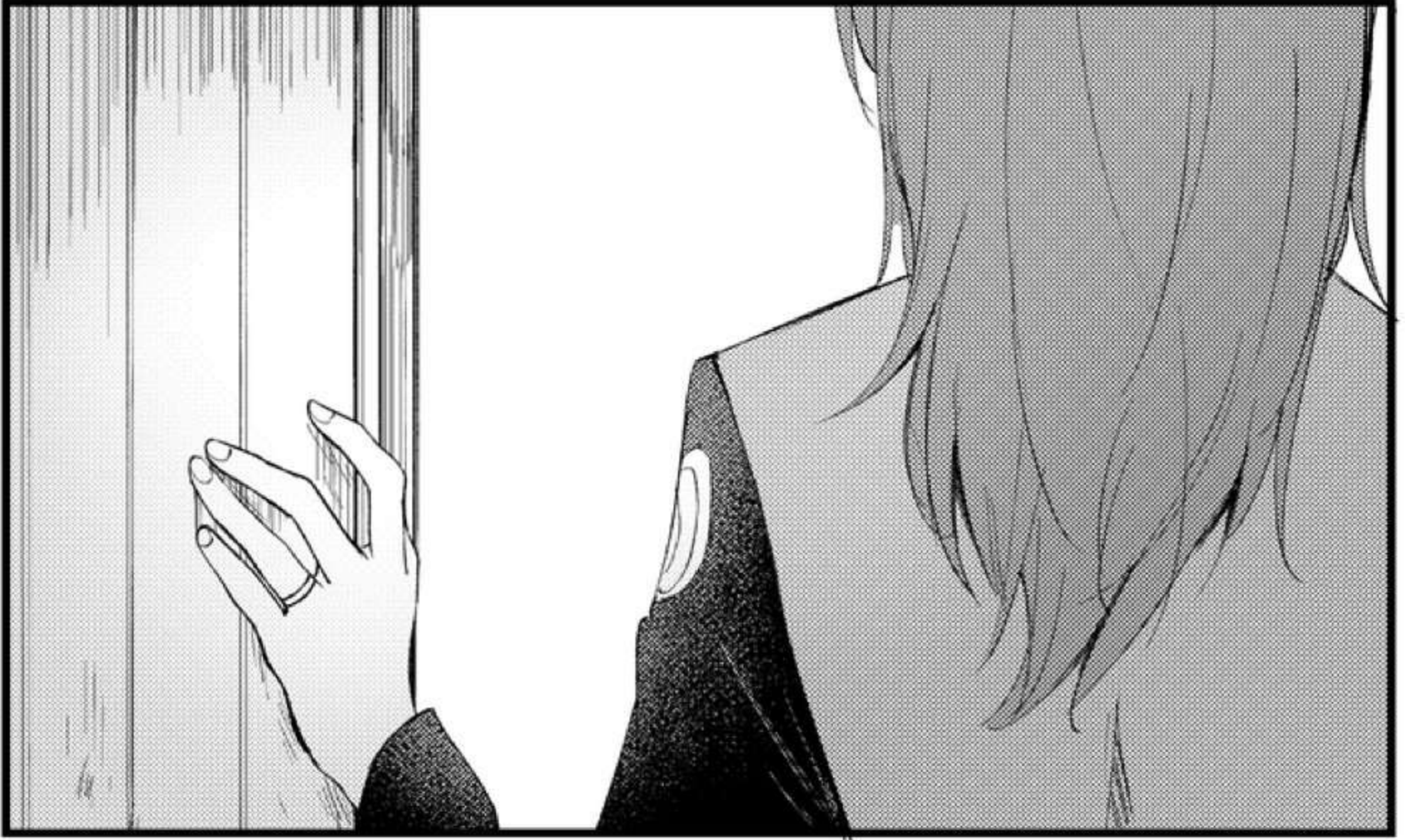












ただいま

*End.*





巨大幻覚にここまでお付き合いくださってありがとうございました!!!

「冬が来ると暖かい南へ旅立ってしまうスナフキン」を元に、「冬になるとユリのところに来てしまうミカ」概念いいなーと思って構想始めたんですが、卒業後ifになるしメチャ長くなるので、ひとつの萌えシチュを成就させるためにこんなに苦労するとは思いませんでした。なぜ……本編でろくすっぽ会話してない、二人の世界を作るだけ作って絆匂わせてただけのカブに……こんな……私は……?

パロや元ネタは入ってれば入ってるほど読む側の時に嬉しいので自分もいっぱい入れました。私がいいなーと思ってたユリミカ像が、この本で少しでも伝わっていたら嬉しいです。

史実のド貧乏弱小国フィンランドが世界も驚く強さを見せたのは、国土防衛の愛国心も要因の一つだと思っていて、最終章4話でのミカの強さ・刹那的な必死さを「継続戦車道」への愛着だと解釈しました。

久々にガルパン二次創作本が描けて苦しくも楽しかったです。過去作は恥ずかしくて見返せないタイプなのですが、シチュエーションとかセリフとか似通ってても「ま、同じ工場で作られてるし」と思って許してね。pixivに上げてるJKユリミカの漫画はこの本と同じ軸設定で一応描いてるので、未読の方はよければ併せてどうぞ〜(今以上に描き慣れてなくて拙いんですが…)

- 小ネタも入れたパロ、元ネタは
- レニングラード・カウボーイズ・ゴッド・アメリカ
  - かもめ食堂
  - 君のことが大大大大大好きな100人の彼女
  - 史実(冬・継続戦争)
  - 楽しいムーミン一家
- イメジ曲
- 星のブルース
  - ナイトルーティーン



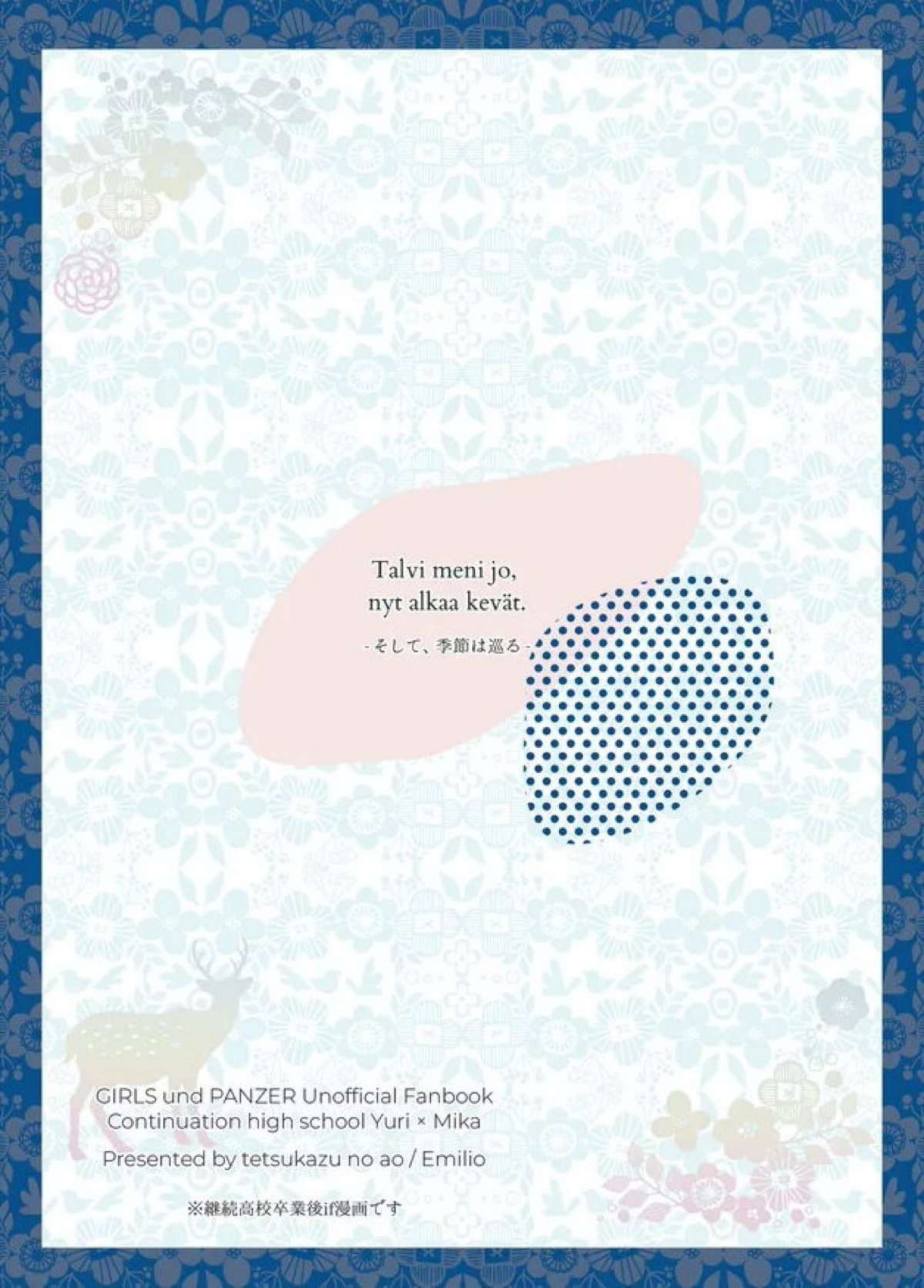
発行日:2024/1/21  
 印刷:くりえい社

作:手つかずの青。/えみりお (@emiliopan2)  
 表紙デザイン:猫飼いたい (@nekokaitaiyofu)

pixiv:4427149  
 連絡:emiliopanda123@gmail.com

感想頂けたら ↑  
すごく嬉しいです!





Talvi meni jo,  
nyt alkaa kevät.

-そして、季節は巡る-

GIRLS und PANZER Unofficial Fanbook  
Continuation high school Yuri × Mika  
Presented by tetsukazu no ao / Emilio

※継続高校卒業後if漫画です